

健康経営関連データ

項目		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 目標値	
健康増進 ・疾病予防	早期発見	定期・生活習慣病健診受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100%
		二次検査受診率	71.4%	83.0%	95.3%	100%
	健康増進	健康増進月間参加率(*1)	18.4%	16.0%	31.5%	50%
	女性の健康	子宮がん検診受診率	82.7%	80.4%	82.5%	85%
		乳がん検診受診率	95.7%	91.8%	95.1%	96%
喫煙	喫煙率	18.0%	17.6%	17.8%	16%	
重症化予防	健康診断有所見率	64.5%	63.3%	63.5%	-	
	産業保健職との面談率	76.3%	86.0%	84.6%	100%	
	健康管理票提出率(*2)	76.1%	82.9%	84.2%	100%	
心身の健康保持増進	欠勤率(*3)	0.63%	0.60%	0.76%	-	
	ストレスチェック実施率	98.4%	98.6%	99.2%	100%	
	ストレスチェック高ストレス者率	9.9%	10.4%	10.5%	-	
就業状況	総労働時間	1,990時間	2,015時間	1,987時間	-	
	平均有給休暇取得日数	17.5日	17.9日	18.6日	-	
生産性	ワーク・エンゲイジメント(*4)	2.79	2.79	2.78	-	
	回答率 (回答者数)	98.4% (2,493人)	98.6% (2,469人)	99.2% (2,454人)	100%	
	プレゼンティーズム損失割合(*5)	-	21.8%	22.4%	-	
	回答率 (回答者数)	98.4% (2,493人)	98.6% (2,469人)	99.2% (2,454人)	100%	
	アブセンティーズム損失日数(*6)	-	別表1参照	別表2参照	-	
	回答率 (回答者数)	98.4% (2,493人)	98.6% (2,469人)	99.2% (2,454人)	100%	

(*1)社員一人ひとりが自身のライフスタイルを見直し、疾病の予防・健康増進につなげる機会とするため、例年10-11月を健康増進月間とし、各種施策を実施している。

(*2)健康管理票：有所見者の治療状況の確認のために使用する。

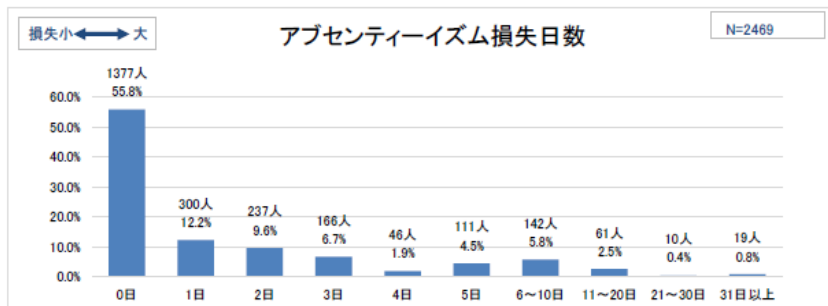
(*3)社員の延べ勤務日数に対する延べ欠勤日数の割合（欠勤による総喪失日数/総労働日数）

(*4)新職業性ストレス簡易調査のワーク・エンゲイジメント尺度で測定（最大4.0）

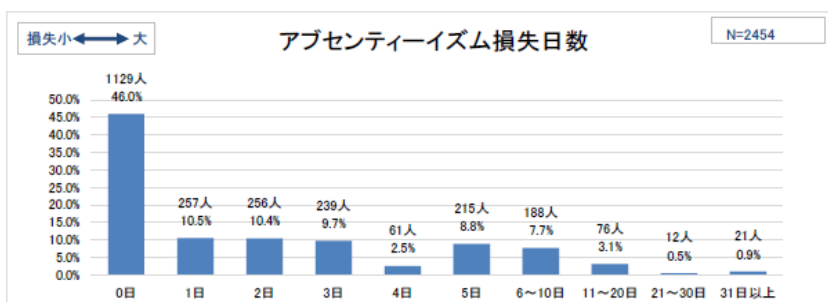
(*5)健康経営評価指標の策定・活用事業 成果報告（東京大学政策ビジョン研究センター・健康経営研究ユニット）に基づき、「病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください。」に対して0~100%を11件法にて回答した割合を100%値から差し引いた割合により評価。

(*6)健康経営評価指標の策定・活用事業 成果報告（東京大学政策ビジョン研究センター・健康経営研究ユニット）に基づき、「昨年1年間に、自分の病気やけがなどの体調不良で何日仕事を休みましたか？」に対して0~365日を10件法にて回答したものを評価。

別表1：アブセンティーズム損失日数（2022年度）



別表2：アブセンティーズム損失日数（2023年度）



健康経営関連データ

別紙

毎年10月～11月に行っている健康増進月間の参加者を対象としたデータである。

<2022年度>

2022年度参加者について2021年度と2022年度の下記項目を比較掲載

項目		2021年度	2022年度	経年比較
生産性	ワーク・エンゲイジメント(*1)	2.63	2.62	-0.01
	対象者数(*4)	280人	285人	-
	ワークセルフバランス (P)(*2)	2.37	2.36	-0.01
	対象者数	280人	285人	-
	職場の一体感(*3)	2.85	2.92	0.07
	対象者数	280人	285人	-

<2023年度>

2023年度参加者について2022年度と2023年度の下記項目を比較掲載

項目		2022年度	2023年度	経年比較
生産性	ワーク・エンゲイジメント(*1)	2.75	2.72	-0.03
	対象者数(*5)	683人	749人	-
	ワークセルフバランス (P)(*2)	2.47	2.43	-0.04
	対象者数	683人	749人	-
	職場の一体感(*3)	2.99	2.99	0.00
	対象者数	683人	749人	-

(*1)新職業性ストレス簡易調査のワーク・エンゲイジメント尺度で測定（最大4.0）

(*2)新職業性ストレス簡易調査のワークセルフバランス (P)尺度で測定（最大4.0）

(*3)新職業性ストレス簡易調査の職場の一体感尺度で測定（最大4.0）

(*4)2022年度人数内訳

・2022年度健康増進月間参加者：291人

上記参加者のうち

・2021年度ストレスチェック有効回答者：280人

・2022年度ストレスチェック有効回答者：285人

(*5)2023年度人数内訳

・2023年度健康増進月間参加者：770人

上記参加者のうち

・2022年度ストレスチェック有効回答者：683人

・2023年度ストレスチェック有効回答者：749人